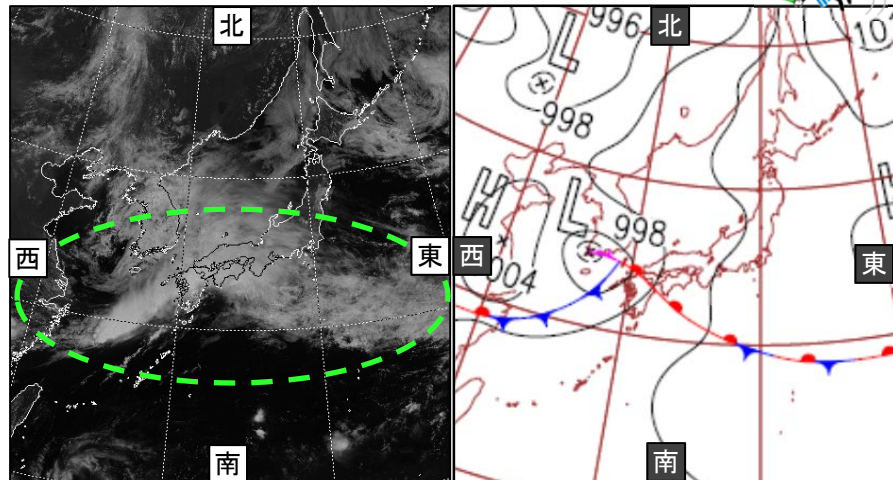


# 「梅雨と災害」

**梅雨** 梅雨とは雨やくもりの日が多くなる季節のことです。

天気図にある梅雨前線(赤と青の線)には、衛星画像で見ると、白い雲がひろがっているね(図の○)。



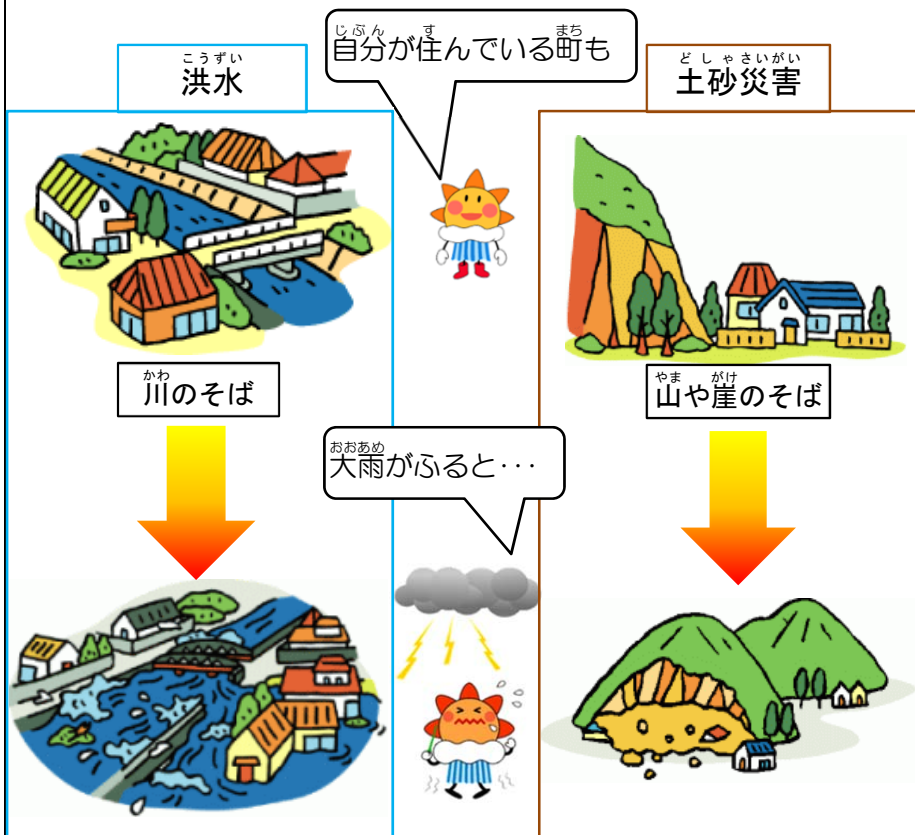
平成26年7月3日09時の気象衛星画像(左)と天気図(右)

平成26年7月3日は、福岡市で、去年1年間のうち、一番多くの雨量を観測した日です。1日で102mmの雨がふりました。

これからの季節、「しゅ」や「ばいぜんせん」という言葉が、天気予報から聞こえてくるようになります。これは、日本列島をおおうように東西にのびる雲が広がりはじめた合図です。東西にのびる雲は、5月頃に沖縄にかりはじめ、だんだん北上していきます。福岡県などの九州北部地方は、6月と7月に梅雨の時期をむかえます。

## 梅雨は大雨による災害が多くなります

## 大雨による災害



毎年、梅雨の大雨により、左の図のような災害が発生しています。災害は、一瞬にして多くの人の命や住宅などの財産をうばってしまう、恐ろしいものです。あなたが住んでいる地域はどのような場所ですか？地形によって起こりやすい災害の種類も違います。長く雨が続いたときや、大雨のときに危険になりそうな場所をまわりの人と話し合っておきましょう。

- 注意**九州北部では、梅雨の時期に、大雨による災害が最も発生しやすい！
- 1ヶ月分くらいの雨(約250mm)が1日でふることもあります。
- 雨がふったら危険な場所(山や崖、川のそばなど)には近づかない。

### 雲と天気の関係は？

空全体の広さを10として、雲の量が0から8のときは「はれ」、9から10のときは「くもり」としています。雲の量に関係なく、雨がふっていたら、天気は「雨」です。

世界中で行われている気象観測では、気温や風だけではなく、雲の量や種類も毎日観測されています。



気象台の屋上で雲の観測中



2015年	5月8日	金曜日
平成27年		
福岡管区気象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

### 「お天気 Q&A」

Q: 雨量は冬より夏が多いのはなぜですか？

A: ジュースを冷蔵庫から出すと、容器の表面が水でぬれてきます。これは空気中の水蒸気が容器の表面で冷やされて水に変わったものです。雲の中でも同じようなことがおきて、やがて雨となつてふってきます。気温が高い空気のほうが、より多くの水蒸気を含むことができるため、夏には多くの雨がふるのです。

はじめと暑い日

と、からっとさわやかな日でジュースの容器の表面のぬれ方を比べてみましょう。



ここを確認

### 気象情報へのアクセス

パソコン・スマホから

福岡管区 防災教育 検索



パソコン・スマホから

はれるん通信 検索

